

2024年4月10日

輸送動向について（2024年3月分）

1. 輸送概況

長引く物価高騰の影響による個人消費の減少の影響や、月前半に発生した東北線、東海道線等における輸送障害による減送があり、コンテナは前年を下回った。一方、車扱は石油等が増送となったため、輸送実績合計は前年を上回った。

コンテナは、農産品・青果物が、東北、関東地区の米、九州地区の馬鈴薯等が好調な荷動きとなり、前年を上回った。また、紙・パルプは、一部顧客における増送に加え、年度末需要等により増送となった。一方、積合せ貨物は、月前半に発生した輸送障害に伴う列車運休等により減送となったほか、化学薬品は、需要低迷に伴う生産減に加え、一部顧客における輸送終了により荷動きは低調となった。コンテナ全体では前年比97.0%となった。

車扱は、3月に入り気温が平年より低く推移したことに伴う燃料需要の増加により灯油及びガソリンを中心に石油が荷動き好調となり、車扱全体では前年比112.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比101.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,723	1,776	97.0%	18,107	18,330	98.8%
車 扱	814	722	112.7%	8,416	8,278	101.7%
合 計	2,538	2,499	101.6%	26,524	26,609	99.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	148	142	6	104.5%
	化学工業品	141	148	-6	95.8%
	化学薬品	98	105	-7	93.1%
	食料工業品	269	271	-1	99.4%
	紙・パルプ	197	194	2	101.4%
	他工業品	103	123	-19	84.3%
	積合せ貨物	294	306	-12	96.0%
	自動車部品	62	69	-7	89.3%
	家電・情報機器	32	32	0	100.3%
	エコ関連物資	29	35	-6	81.0%
	その他	345	345	-0	99.9%
	コンテナ計	1,723	1,776	-52	97.0%
車 扱	石油	578	478	100	121.1%
	セメント・石灰石	117	132	-14	88.7%
	車 両	80	70	10	114.5%
	そ の 他	38	42	-3	90.7%
	車 扱 計	814	722	91	112.7%
合 計		2,538	2,499	39	101.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)